

# 別府大学学則

## 第1章 総 則

### 第1節 目 的

(目的)

第1条 別府大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神「真理はわれらを自由にする」を基礎にして、深く専門の学芸を教授研究し、もって高い専門能力と広い教養を身につけ、豊かな人間性を備え、進んで社会に貢献しようとする人材を養成するとともに、学術・文化・社会の発展に寄与することを目的とする。

(自己評価等)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果及び認証評価の結果を踏まえ、教育研究活動等について不断の見直しを行う。

2 前項の点検、評価及び見直しに関して必要な事項は別に定める。

(情報の積極的な公表)

第2条の2 本学における教育研究活動等の状況について、広く周知を図ることができる方法によって積極的に公表するものとする。

### 第2節 組 織

(学部学科及びその目的)

第3条 本学に、大学院及び学部・学科を置く。

大 学 院	
文 学 部	国際言語・文化学科 史学・文化財学科 人間関係学科
食物栄養科学部	食物栄養学科 発酵食品学科
国際経営学部	国際経営学科
看護学部	看護学科

2 大学院の学則は、別に定める。

3 学部及び学科の教育研究上の目的を別表第11のとおり定める。

(入学定員及び収容定員)

第4条 前条の学部・学科の入学定員、編入学定員及び収容定員は次のとおりとする。

学部	学 科	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
文学部	国際言語・文化学科	80	—	320
	史学・文化財学科	100	—	400
	人間関係学科	70	—	280
食物栄養科学部	食物栄養学科	60	7	254
	発酵食品学科	40	—	160
国際経営学部	国際経営学科	100	—	400
看護学部	看護学科	80	—	320

(附属図書館)

第5条 本学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規則は、別に定める。

(附属博物館)

第6条 本学に、附属博物館を置く。

2 附属博物館に関する規則は、別に定める。

(研究所等)

第7条 本学に、アジア歴史文化研究所を置く。

- 2 アジア歴史文化研究所に関する規則は、別に定める。
- 3 第1項に掲げるもののほか、本学に教育研究上必要な研究所等を置き、当該研究所等に関する規程は別に定める。

### 第3節 教職員組織

(教職員)

第8条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員を置く。

- 2 本学に、前項のほか、副学長、学部長、学長補佐、学科長、コース主任を置き、その他必要な教職員を置くことができる。
- 3 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。
- 4 教員、事務職員等は、相互の適切な役割分担の下での協働や組織的な連携体制を確保し、教育研究及び必要な業務等を組織的かつ効果的に行う。

### 第4節 教授会

(教授会)

第9条 各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、学部に所属する基幹教員、専任の教員及び学長が指名する事務職員をもって組織する。
- 3 学部相互に関連する事項を審議するために、教授会を連合して開くことができる。
- 4 教授会の運営に関する規程は別に定める。

### 第5節 学年・学期及び休業日

(学年)

第10条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第11条 学年を分けて次の2学期とする。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

- 2 学長が特に必要を認めた場合は、前項に定める学期の開始日及び終了日を変更することができる。
- 3 各学期の授業実施日等は、別に定める学年暦による。
- 4 第1項に定める各学期は、前半及び後半に分けて授業を編成することができる。

(1年間の授業期間)

第12条 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

(各授業科目の授業期間)

第13条 各授業科目の授業は、8週、10週又は15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

- 2 授業を8週で行う場合は、試験期間を含むことができる。

(授業を行わない日)

第14条 学年中の授業を行わない日(以下「休業日」という。)は、次のとおりとする。

- 一 日曜日
  - 二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
  - 三 春期休業日
  - 四 夏期休業日
  - 五 冬期休業日
- 2 前項第3号から第5号までの休業日の期間は、学年暦により定める。
  - 3 学長は、必要があると認めるときは、第1項に定める休業日のほかに臨時の休業日を定め、又は第1項に定める休業日を授業実施日に変更することができる。

## 第2章 通 則

### 第1節 修業年限及び在学年限

（修業年限）

第15条 本学における修業年限は4年とする。

（在学年限）

- 第16条 学生は8年をこえて在学することはできない。ただし、休学の期間は、これを算入しない。
- 2 第22条、第23条及び第24条の規定により入学した学生は、第25条により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

### 第2節 入学、編入学、転入学、再入学

（入学時期）

第17条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、外国人留学生・帰国子女は、後学期の始めに入学することができる。

（入学の資格）

- 第18条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当し、かつ本学所定の入学試験に合格した者とする。
- 一 高等学校又は中等教育学校を卒業した者。
  - 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）。
  - 三 学校教育法施行規則第150条の規定により、前二号の者と同等以上の学力があると認められる者。

（入学の出願）

第19条 本学への入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならない。

（入学者の選考）

第20条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

（入学手続き及び入学許可）

- 第21条 前条の選考の結果にもとづき、合格の通知を受けた者は、所定の期日までに誓約書及びその他の必要書類とともに、所定の入学料を納入しなければならない。
- 2 前項の入学手続きを完了した者に学長は入学を許可する。

（編入学）

- 第22条 本学に編入学を希望するときは、選考のうえ、入学を許可することができる。
- 2 編入学に関する規程は、別に定める。

（再入学）

- 第23条 本学または他の大学を退学した者が再入学を希望するときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、入学を許可することがある。
- 2 本学または他の大学を卒業した者が入学を希望するときは、前項の規定によるものとする。
  - 3 再入学に関する規程は、別に定める。

(転入学)

- 第24条 他の大学の学生が転入学を希望するときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、入学を許可することがある。
- 2 転入学に関する規程は、別に定める。

- 第25条 第22条、第23条、第24条の規定により、入学を許可された者のすでに修得した単位の取り扱い並びに在学すべき年数については、学長が決定する。

### 第3節 教育課程及び履修方法等

(授業科目、授業の方法)

- 第26条 本学の授業科目は、教養科目及び専門科目とする。
- 2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
  - 3 本学は、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第25条第2項の規定に基づき文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
  - 4 本学は、第2項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
  - 5 本学は、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第25条第2項の規定に基づき文部科学大臣が別に定めるところにより、第2項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
  - 6 授業科目の種類、単位数等は別表第1のとおりとする。

(履修科目の登録の上限)

- 第26条の2 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録できる単位数の上限については、規則で別に定める。

(外国人留学生及び帰国子女に関する授業科目等の特例)

- 第27条 本学は、外国人留学生（大学において教育を受ける目的をもって入国し、大学に入学した外国人留学生をいう。）及び外国において教育を受けた学生（以下「帰国子女」という。）に関する授業科目等について、必要があると認めるときは第26条に規定するもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を開設することができる。
- 2 これらの履修に関する規程は別に定める。

(免許・資格科目)

- 第28条 第26条に定めるもののほか、免許及び資格に関する科目を開設することができる。
- 2 授業科目の種類、単位数等は、別表第2・第3・第4・第5・第6・第7・第7の2のとおりとする。

(単位の計算方法)

- 第29条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。
- 一 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
  - 二 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、本学が定める時間の授業をもって1単位とすることができる。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(単位の授与)

第30条 授業科目を履修した学生に対し、試験又は論文等の提出及びその他の本学が定める適切な方法により学修の成果を評価して所定の単位を与える。ただし、法令等によって別に定めのある場合を除いて、授業時数の3分の2以上出席しなければならない。

(成績評価)

第31条 授業科目の試験等による成績は、AA、A、B、C及びFの5段階の評語で表す。

- 2 評語のAA、A、B及びCを合格とし、Fを不合格とする。
- 3 成績評価の基準は、別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

第32条 本学において、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。以下同じ。)において履修した授業科目について修得した単位(第67条の規定により修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った第34条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学・再入学・転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて30単位を超えないものとする。
- 4 前3項による単位の認定は、教養科目又は専門科目の単位とする。
- 5 単位の認定に関連して修業年限の短縮は行わない。
- 6 入学前の既修得単位等の認定に関する規程は、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第33条 本学において、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議により、学生が当該他大学又は短期大学の授業科目を履修することを認めることがある。この場合の履修期間は、第15条の期間に含めることができる。

- 2 前項の規定により、学生が当該他大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位については、30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 3 第1項の他の大学又は短期大学の授業科目を履修することを志望する学生は、学部長を経て学長に願い出て、その許可を受けなければならない。
- 4 他の大学又は短期大学の授業科目の履修等に関する規程は別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第34条 本学において、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることのできる単位数は、第33条第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。
- 3 大学以外の教育施設等における学修に関する規程は別に定める。

(その他)

第35条 この節に定めるもののほか、授業科目の履修に関する規程は別に定める。

#### 第4節 休学、復学、退学、除籍、転学、留学、転科

(休学)

第36条 疾病その他止むを得ない理由のため、3ヶ月以上修学できないときは、医師の診断書その他事由を証する書類を添えて学長の許可を受け、1年以内休学することができる。但し、特別な事情があるときは、その期間を3年まで延長することができる。

- 2 休学期間は、通算して4年をこえることができない。
- 3 休学の時期は、事由の発生した日時にかかわらず、次の学期の始めからとする。
- 4 疾病のため、修学することが適当でない認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(復学)

第37条 休学の期間中にその理由が消滅した場合は、保証人連署のうえ、願い出て学長の許可を得て復学することができる。

2 復学の時期は、学年の前期及び後期の始めとする。

(退学)

第38条 疾病またはその他の事由によって退学しようとする者は、学部長を経て学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第39条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- 一 第16条第1項及び第2項に定める在学年限をこえた者
- 二 第36条第1項及び第2項に定める休学期間をこえて、なお修学できない者
- 三 授業料の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- 四 長期にわたり行方不明の者

(転学)

第40条 学生が、他の大学に入学又は転学を志願するときは、予め学部長を経て学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第41条 外国の大学又は短期大学で学修することを希望する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、第15条に定める修業年限に含めることができる。
- 3 第29条の規定は、外国の大学又は短期大学で学修する場合に準用する。
- 4 外国の大学又は短期大学において修得した単位については、第33条第2項の規定を適用する。
- 5 留学に関する規程は別に定める。

(転学部等)

第42条 本学の学生で、転学部又は転学科（以下「転学部等」という。）を希望する者があるときは、審議の上許可することができる。

2 転学部等に関する規程は、別に定める。

## 第5節 卒業の要件と学士の学位

(卒業)

第43条 卒業の要件は、本学に通算して4年（第22条・第23条・第24条の第1項の規定により入学した者については、第25条により定められた在学すべき年数）以上在学し、別に定める履修規程により、124単位以上を修得することとする。

- 2 前項の規定により卒業の要件として修得すべき単位数のうち、第26条第3項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。
- 3 卒業の要件を備えた者に対しては、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し卒業証書を授与する。

(学士の学位)

第44条 卒業と認められた者に対して学士の学位を授与する。

2 前項の学位の表記は、次のとおりとする。

文学部	国際言語・文化学科	学士（文 学）
	史学・文化財学科	
	人間関係学科	
食物栄養科学部	食物栄養学科	学士（栄養学）
	発酵食品学科	学士（食物バイオ学）
国際経営学部	国際経営学科	学士（経営学）
看護学部	看護学科	学士（看護学）

## 第6節 免許、資格の取得

(教育職員の免許状)

第45条 教育職員の免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 本学において、取得できる教育職員免許状の種類は、次に掲げるとおりとする。

学部	学科	教育職員免許状の種類(免許教科)
文学部	国際言語・文化学科	中学校教諭一種免許状(国語) 高等学校教諭一種免許状(国語) 中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(美術) 中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)
		中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(公民)
	人間関係学科	高等学校教諭一種免許状(公民)
食物栄養科学部	食物栄養学科	栄養教諭一種免許状
	発酵食品学科	中学校教諭一種免許状(理科) 高等学校教諭一種免許状(理科)
国際経営学部	国際経営学科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(公民) 高等学校教諭一種免許状(商業)

3 本学に教職課程を置き、教育職員免許状取得に関する規則は、別に定める。

(資格の取得)

第46条 文学部において次の資格を取得しようとする者は、それぞれ所定の科目の単位を修得し、学士の学位を取得しなければならない。なお、それぞれの資格取得に関する規則は、別に定める。

- 一 学芸員資格 博物館法および文部科学省令に定める所要の科目の単位
- 二 司書又は司書教諭資格 図書館法、学校図書館法および文部科学省令に定める所要の科目の単位
- 三 外国人に日本語を教育する日本語教育施設の日本語教員の資格 日本語教員養成に関する所要の科目の単位
- 四 公認心理師国家試験受験資格 公認心理師法施行規則に定める所要の科目の単位
- 五 社会福祉士国家試験受験資格 社会福祉士及び介護福祉士法に定める所要の科目の単位
- 六 精神保健福祉士国家試験受験資格 精神保健福祉士法に定める所要の科目の単位
- 七 社会福祉主事任用資格 社会福祉法に定める所要の科目の単位
- 八 文書館専門職(アーキビスト) 文書館専門職(アーキビスト)養成に関する所要の科目の単位

第47条 食物栄養科学部において次の資格を取得しようとする者は、それぞれ所定の科目の単位を修得し、学士の学位を取得しなければならない。なお、それぞれの資格取得に関する規程は、別に定める。

- 一 栄養士の免許を受ける資格 栄養士法施行規則に定める所要の科目の単位
- 二 管理栄養士国家試験の受験資格 管理栄養士学校指定規則に定める所要の科目の単位
- 三 食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格 本学で定める所要の科目の単位
- 四 フードスペシャリスト受験資格 本学で定める所要の科目の単位
- 五 学芸員資格 博物館法および文部科学省令に定める所要の科目の単位
- 六 フードサイエンティスト資格 本学で定める所要の科目の単位
- 七 司書又は司書教諭資格 図書館法、学校図書館法および文部科学省令に定める所要の科目の単位
- 八 社会福祉主事任用資格 社会福祉法に定める所要の科目の単位

第47条の2 国際経営学部において次の資格を取得しようとする者は、それぞれ所定の科目の単位を修得し、学士の学位を取得しなければならない。なお、それぞれの資格取得に関する規程は、別に定める。

- 一 司書又は司書教諭資格 図書館法、学校図書館法および文部科学省令に定める所要の科目の単位
- 二 社会福祉主事任用資格 社会福祉法に定める所要の科目の単位

第47条の3 看護学部において看護師の国家試験受験資格を取得しようとする者は、それぞれ所定の科目の単位を修得し、学士の学位を取得しなければならない。また、保健師の国家試験受験資格を取得しようとする者は、看護師及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める所要の科目の単位を修得しなければならない。  
保健師の国家試験受験資格取得に関する規程は、別に定める。

## 第7節 賞 罰

(表彰)

第48条 学業性行の優良な者または学生の模範となるべき者があるときは、学長がこれを表彰することができる。

(懲戒)

第49条 本学の規則等に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学、謹慎及び訓告とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
  - 一 性行不良にして改善の見込みがないと認められる者。
  - 二 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者。
  - 三 正当の理由がなくて、出席常でない者。
  - 四 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者。
- 4 懲戒に関する規程は別に定める。

## 第8節 厚生保健

(保健管理)

第50条 本学に保健室を設置し、校医、看護師等を置き、職員および学生の保健管理にあたる。

(学生寮)

第51条 本学に学生寮を置く。  
2 学生寮に関する規則は、別に定める。

## 第9節 別 科

(別科)

第52条 本学に別科を設け、次の課程を置く。  
日本語課程

(目的)

第53条 別科は、外国人留学生に対して日本語及び日本事情について教授し、国際文化の交流への寄与と国際的視野に立つ有為な人材育成を目的とする。

(学生定員)

第54条 本学別科の入学定員は、次のとおりとする。  
日本語課程 80人

(入学の時期)

第55条 入学の時期は4月及び10月とする。

(修業年限)

第56条 本学別科の修業年限は1年とする。  
2 別科学生は2年をこえて在学することはできない。

(入学資格)

第57条 本学別科に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 外国において通常の課程による12年の学校教育を修了した者で、その教育機関所在国における大学入学資格を有する者。
- 二 スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で満18才以上の者。
- 三 日本国以外の教育制度による大学入学資格試験に合格した者。
- 四 日本の高等学校卒業者に相当する年齢に達し、同等以上の学力があると本学が認めた者。

(休学)

第58条 疾病その他特別の事由により、3ヶ月以上就学することができない者は、医師の診断書その他事由を証する書類を添えて学長の許可を得て、1学年間または1学期間休学することができる。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は、通算して2年を超えることはできない。
- 3 休学期間は、在学期間に算入しない。
- 4 疾病のため就学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命じることができる。

(復学)

第59条 休学期間中に、その理由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(退学)

第60条 疾病またはその他の事由によって退学しようとする者は、学長の許可を得て退学することができる。

(除籍)

第61条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- 一 学費の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- 二 第56条に定める在学年限を超えた者
- 三 第58条に定める休学期間を超えてもなお復学できない者
- 四 長期間にわたり行方不明の者

(開設授業科目及びその単位数)

第62条 本学別科で開設する授業科目の種類及びその単位数等は、別表第8のとおりとする。

(課程の修了等)

第63条 本学別科を修了するためには、学生は1年以上在学し、別に定める履修規程により34単位以上を取得し、修了試験に合格しなければならない。

- 2 前項に定める修了要件を満たした者については、学長が修了を認定し、修了証書を授与する。

(入学検定料等の諸納入金)

第64条 本学別科の入学検定料、入学金、授業料及びその他諸納入金の金額は、別表第10のとおりとする。

(その他)

第65条 本学別科に関し、本節に定めるもののほか、必要な事項については別に定める。

## 第10節 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生及び帰国子女

(研究生)

第66条 四年課程の大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者が、本学において特定の専門事項について研究することを志願するときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生に関する規程は別に定める。

(科目等履修生)

第67条 本学の学生以外の者で、一または複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 科目等履修生には、第30条及び第31条の規定を準用して単位を与えることができる。
- 3 科目等履修生に関する規程は別に定める。

(特別聴講学生)

第68条 本学において、他の大学又は短期大学（外国の大学または短期大学を含む。以下同じ。）の学生が、特定の授業科目の履修を志望する場合は、教授会の議を経て、当該大学又は短期大学との協議に基づき、学長は特別聴講学生として入学を許可することがある。

- 2 特別聴講学生に関する規程は別に定める。

(外国人留学生及び帰国子女)

第69条 外国人留学生で、本学に入学又は編入学を志願する者があるときは、選考のうえ、入学を許可することがある。

- 2 帰国子女で、本学に入学しようとする者があるときは、選考のうえ、入学を許可することがある。
- 3 外国人留学生及び帰国子女に関する規程は別に定める。

## 第11節 入学検定料、入学金、授業料及びその他の諸納入金

(入学検定料等の納入)

第70条 学生は、本学所定の入学検定料、入学金、授業料、施設設備費及び教育研究料（以下「入学検定料等」という。）並びにその他の納入金を所定の期日までに納入しなければならない。

(入学検定料等及びその他の納入金の額)

第71条 入学検定料等の額は、別表第9のとおりとする。

- 2 その他の納入金の額は、別に定める。

(授業料の納期等)

第72条 授業料は、第11条第1項に規定する学期に応じ、それぞれ年額の2分の1に相当する額を、次に掲げる納期までに納入するものとする。

前学期分 納期4月20日まで

後学期分 納期9月30日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、前学期分の授業料の納期までに、当該年度の後学期分に係る授業料を併せて納入することができる。
- 3 入学検定料及び入学金並びにその他の納入金の納期は、別に定める。
- 4 施設設備費及び教育研究料は、授業料の前学期分の納期までに納入するものとする。
- 5 第1項及び前項の規定にかかわらず、特別の事情があると認められる者は、申出により、授業料、施設設備費及び教育研究料（以下「授業料等」という。）並びに入学金の分納又は延納を認めることがある。

(退学、除籍及び停学期間の授業料等)

第73条 学期の途中で退学（懲戒による退学を含む。）し、又は除籍された者の当該学期分の授業料並びに当該年度分の施設設備費及び教育研究料は徴収する。

ただし、死亡、第61条第1項第1号または第4号の定めにより除籍となった者の未納の授業料等の免除については、理事会において決定する。

- 2 停学期間中の授業料等は徴収する。

(休学期間の授業料等)

第74条 休学期間中の授業料等は、免除する。

2 前期に復学する者は、第72条に準じ授業料等を納期までに納入する。

3 後期に復学する者は、授業料等の年額の2分の1に相当する額を納期までに納入する。

(卒業延期者の授業料等)

第75条 卒業を延期する学生のうち、1年間卒業を延期する者は、第72条に準じ授業料等を納期までに納入する。

- 2 前期もしくは後期の半期のみ卒業延期する者は、授業料等の年額の2分の1に相当する額を納期までに納入する。

(研究生、科目等履修生等の授業料等)

第76条 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生及び帰国子女の入学検定料等及びその他の納入金については別に定める。

(納入した授業料等)

第77条 納入した入学検定料等は、原則として返還しない。

## 第12節 公開講座

(公開講座)

第78条 学校教育法第107条により公開講座を開設することができる。

### 附 則

1. この学則は昭和25年4月1日から施行する。(大学設置)
2. この学則は昭和38年4月1日から施行する。(史学科設置)
3. この学則は昭和48年4月1日から施行する。(美学美術史学科設置)
4. この学則は昭和53年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和53年度入学生から適用する。(5～6省略)
7. この学則は昭和56年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和56年度入学生から適用する。
8. この学則は昭和57年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和57年度入学生から適用する。
9. この学則は昭和58年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和58年度入学生から適用する。
10. この学則は昭和59年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和59年度入学生から適用する。
11. この学則は昭和59年12月22日から施行する。  
ただし、①第16条第2項は昭和59年度入学生から適用する。  
②第38条は昭和60年度入学生から適用する。
12. この学則は昭和61年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和61年度入学生から適用する。
13. この学則は昭和62年4月1日から施行する。ただし、第51条は昭和62年度入学生から適用する。
14. この学則は昭和63年4月1日から施行する。ただし、第51条は昭和63年度入学生から適用する。
15. この学則は平成元年4月1日から施行する。(別科日本語課程設置)。ただし、第60条は平成元年度入学生から適用する。

### 附 則

1. この学則は平成2年4月1日から施行する。ただし、第64条は平成2年度入学生から適用する。
2. 第3条の規定にかかわらず、平成2年度から平成10年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 科 名	入 学 定 員
英文学科	50
美学美術史学科	40

### 附 則

1. この学則は平成3年4月1日から施行する。ただし、第24条第3項(別表第1)、第26条第2項(別表第2、第3)及び第42条については、平成2年度入学生から適用する。又、第64条は平成3年度入学生から適用する。
2. 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成10年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 科 名	入 学 定 員
史学科	120

附 則

1. この学則は平成4年4月1日から施行する。ただし、第41条については、平成3年9月18日から適用する。

附 則

1. この学則は平成4年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成5年4月1日から施行する。(別科収容定員増)

附 則

1. この学則は平成5年4月1日から施行する。ただし、第62条(課程の修了等)、第63条(入学検定料等の諸納入金)、第70条(授業料等)、第71条(検定料、入学金その他の納入金)については、平成5年度入学生から適用し、平成4年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

1. この学則は平成6年4月1日から施行する。ただし、第63条(課程の修了等)、第64条(入学検定料等の諸納入金)、第71条(授業料等)、第72条(検定料、入学金その他の納入金)については、平成6年度入学生から適用し、平成5年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

1. この学則の第55条については平成6年9月1日から適用する。

附 則

1. この学則は平成7年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成8年4月1日から施行する。
2. 入学定員、収容定員については、第4条の規定にかかわらず平成8年度から平成10年度までは、次のとおりとする。

学 科	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
国文学科	50	10	220
英文学科	50	10	220
史 学 科	120	10	500
美学美術史学科	40	10	180

附 則

1. この学則は平成9年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成10年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成11年4月1日から施行する。
2. 入学定員、収容定員については、第3条の規定にかかわらず平成11年度は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
国文学科	80	20	360
英文学科	50	10	220
史 学 科	120	10	500
美学美術史学科	40	10	180

附 則

1. この学則は平成12年4月1日から施行する。  
ただし、別府大学文学部美学美術史学科は、改正後の学則第3条第1項の規定にかかわ

- らず、平成12年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
2. 平成12年度から平成16年度までの入学定員及び平成12年度から平成18年度までの収容定員については、第4条の規定にかかわらず次のとおりとする。

(入学定員)

学 科	年 度	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6
国文学科		80	80	80	80	80
英文学科		48	46	44	42	40
史学科		128	126	124	122	120
芸術文化学科		70	70	70	70	70
文化財学科		100	100	100	100	100

(収容定員)

学 科	年 度	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6	1 7	1 8
国文学科		300	330	360	360	360	360	360
英文学科		218	214	208	200	192	186	182
史学科		508	514	518	520	512	506	502
芸術文化学科		210	240	270	300	300	300	300
文化財学科		420	420	420	420	420	420	420

附 則

1. この学則は平成13年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成14年4月1日から施行する。ただし、第47条第1項第3号は、厚生労働大臣の指定の日（平成15年2月24日）から適用する。

附 則

1. この学則は平成15年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第18条第1項第6号は、平成15年12月16日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成19年4月1日から施行する。

(講師に関する経過規定)

第8条、第9条の規定にかかわらず、現に講師の職務にある者が在職するまでの間、職としての講師を置くものとする。

附 則

1. この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、平成21年3月31日に在学する者には改正前の学則を適用する。
2. 国文学科、英文学科、史学科、芸術文化学科及び文化財学科は、改正後の学則第3条第1項の規定にかかわらず、平成21年3月31日に当該学科に在学する者が卒業するまで存続し、卒業を待って廃止する。

附 則

1. この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、別表については、この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、平成28年4月1日から施行する。
2. 別表については、この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。ただし、教養科目群の学際科目については、学則の施行日前に在籍する者が新たに履修する場合は、改正後の別表を適用する。

附 則

1. この学則は、平成29年4月1日から施行する。
2. この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。ただし、第74条（休学期間中の授業料等）及び別表1の教養科目群の学際科目については、学則の施行日前に在籍する者にも適用する。

附 則

1. この学則は、平成30年4月1日から施行する。
2. この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、平成31年4月1日から施行する。
2. この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。ただし、I 文学部 3. 文学部専門科目群 4)人間関係学科専門科目の専門基礎科目の「公認心理師の職責」については、平成29年4月1日に在籍する者にも改正後の学則を適用する。

附 則

1. この学則は、令和2年4月1日から施行する。
2. この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。ただし、各学部教養科目群コア5「海外語学研修1」「海外語学研修2」「海外語学研修3」「海外語学研修4」及び「地域社会連携PBL1」「地域社会連携PBL2」「地域社会連携PBL3」については、令和2年4月1日に在学する者に適用する。
3. 文学部 3. 文学部専門科目群 4)人間関係学科専門科目の心理領域の「心理演習I」

及び「心理演習Ⅱ」については、平成30年度入学者から適用する。

附 則

1. この学則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、令和4年4月1日から施行する。ただし、この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、令和5年4月1日から施行する。
2. この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。ただし、第73条、第74条、第75条及び別表第1「数学基礎Ⅰ」「アルゴリズムとプログラミング」「統計学Ⅰ」「データサイエンス基礎」「データエンジニアリング基礎」「AI基礎」「AI・データサイエンス実践」については、令和5年4月1日に在籍する者に適用する。

附 則

1. この学則は、令和6年4月1日から施行する。
2. この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、令和7年4月1日から施行する。
2. この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、令和8年4月1日から施行する。
2. この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。

別表第7(学則第28条第2項)

文書館専門職(アーキビスト)に関する科目

授 業 科 目		単位数			備 考
		必修	選択	自由	
基礎科目	市民生活とアーカイブズ		2		
	行政法		2		
	日本史の基礎2		2		
	アーカイブズ論		2		
記録管理科目	アーカイブズ管理論		2		
	レコードマネジメント論Ⅰ		2		
	レコードマネジメント論Ⅱ		2		
	デジタルアーカイブズ		2		
記録資料科目	日本史講義1(古代・中世史料論)		2		
	日本史講義2(近世史料論)		2		
	日本史講義3(近現代史料論)		2		
	世界史講義1(東洋史)		2		
	世界史講義2(西洋史)		2		
	法制史		2		
	国際交渉論		2		
	宗教史		2		
	日本史特講1(古代・中世史)		2		
	日本史特講2(近世史)		2		
	日本史特講3(近現代史)		2		
実習科目	アーカイブズ実習Ⅰ		1		
	アーカイブズ実習Ⅱ		1		

別表第1 (学則第26条第6項)

I 文学部

卒業要件単位数124単位以上修得

1. 教養科目群から32単位以上修得

基礎ゼミ：2単位必修

コア1：4単位以上を含む。

コア2・3：各4単位以上を含む。

コア4・5：各6単位以上を含む。

2. 専門科目群から68単位以上修得

卒業論文6単位、卒業制作6単位、卒業研究4単位のいずれかを含む。

3. 教養科目群及び専門科目群から24単位以上修得

1. 教養科目群

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
基礎ゼミ	導入演習 (国際言語・文化)		1		1単位選択必修
	導入演習 (史学・文化財)		1		
	導入演習 (人間関係)		1		
	基礎演習 (国際言語・文化)		1		1単位選択必修
	基礎演習 (史学・文化財)		1		
	基礎演習 (人間関係)		1		
コア1 学際科目	大学史と別府大学		1		クォーター制で実施
	グローバルと文化		2		
	キャリア教育Ⅰ	2			
	キャリア教育Ⅱ		2		
	インターンシップ基礎	1			
	インターンシップⅠ		1		
	インターンシップⅡ		1		
	インターンシップⅢ		1		
	市民生活とアーカイブズ		2		
	NPO論		2		
	トップマネジメント講話		2		
	手話		2		
	地域と世界農業遺産		2		
	世界農業遺産体験演習		2		
	世界農業遺産マネジメント演習		2		
	地域社会フィールドワーク演習		2		
	災害支援と防災対策		2		
	汎領域研究1 (単位互換)		1		
	汎領域研究2 (単位互換)		1		
	汎領域研究3 (単位互換)		1		
汎領域研究4 (単位互換)		1			
コア2 人間と文化の探求	文学		2		4単位以上選択必修
	哲学		2		
	倫理学		2		
	生命倫理学		2		
	心理学Ⅰ		2		
	心理学Ⅱ		2		
	歴史学		2		
	文化史		2		

コア 科目		科学史		2		
		社会思想史		2		
		体育実技Ⅰ		1		
		体育実技Ⅱ		1		
		スポーツと健康		2		
	コア3 現代社会の多 面的理解		法学(日本国憲法)		2	
			法律学		2	
			行政法		2	
			経済学		2	
			社会学		2	
			地域福祉論		2	
			社会調査法		2	
			政治学		2	
			マスコミ論		2	
			国際関係論		2	
			地域環境論		2	
			国際理解Ⅰ		2	
			国際理解Ⅱ		2	
			ボランティア活動論		2	
			人権教育論		2	
	コア4 科学と情報		生物学		2	
			数学基礎Ⅰ		1	
			アルゴリズムとプログラミング		1	
			化学基礎		2	
			科学技術論		2	
			科学と社会		2	
			情報リテラシー	1		
			数理・データサイエンス入門	2		
			論理学		2	
			統計学Ⅰ		1	
			データサイエンス基礎		1	
			データエンジニアリング基礎		1	
			AI基礎		1	
コア5 国際理解のた めの言語		英語1	1			
		英語2	1			
		英語3	1			
		英語4	1			
		英語5		1		
		英語6		1		
		TOEIC1		1		
		TOEIC2		1		
		TOEIC3		1		
		TOEIC4		1		
		英語語彙1		1		
		英語語彙2		1		
		英語ステップアップ演習1		1		
		英語ステップアップ演習2		1		
		ドイツ語基礎1		1		
		ドイツ語基礎2		1		
		ドイツ語コミュニケーション1		1		
	ドイツ語コミュニケーション2		1			

4単位以上選択必修

6単位以上選択必修

6単位以上選択必修

フランス語基礎 1	1		○ 半日以上選択必修
フランス語基礎 2	1		
フランス語コミュニケーション 1	1		
フランス語コミュニケーション 2	1		
中国語基礎 1	1		
中国語基礎 2	1		
中国語コミュニケーション 1	1		
中国語コミュニケーション 2	1		
韓国語基礎 1	1		
韓国語基礎 2	1		
韓国語コミュニケーション 1	1		
韓国語コミュニケーション 2	1		
海外語学研修 1	2		
海外語学研修 2	2		
海外語学研修 3	2		
海外語学研修 4	2		

## 2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目

授 業 科 目	単位数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日本語	総合日本語 1 (読む・書く)		2	外国人・帰国子女はこのうち16単位までを教養科目群の単位に替えることができる。 } 2単位以上選択必修 } 2単位以上選択必修 } 2単位以上選択必修
	総合日本語 2 (読む・書く)		2	
	総合日本語 3 (聴く・話す)		2	
	総合日本語 4 (聴く・話す)		2	
	アカデミック日本語 1 (口頭発表)		2	
	アカデミック日本語 2 (口頭発表)		2	
	アカデミック日本語 3 (論文作成)		2	
	アカデミック日本語 4 (論文作成)		2	
	アカデミック日本語 5 (言語知識)		2	
	アカデミック日本語 6 (言語知識)		2	

3. 文学部専門科目群  
1) 文学部共通専門科目

科目区分	授 業 科 目	単位数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
人文系	日本文学概論		2		専門科目の卒業要件単位数 国際言語・文化学科 68単位以上 史学・文化財学科 68単位以上 人間関係学科 68単位以上  (それぞれの学科における専門 科目の履修は、文学部共通専 門科目及びそれぞれの学科の 専門科目から68単位以上修 得するものとする。
	言語学概論		2		
	言語習得概論		2		
	書道概論		2		
	漢字かな交じり書(書写を含む)		1		
	楷書(書写を含む)		1		
	行書(書写を含む)		1		
	英米文学概論		2		
	英文法1		2		
	英文法2		2		
	美術史概論		2		
	考古学概論		2		
	文化財科学概論		2		
	世界遺産学概論		2		
	比較文化研究		2		
	世界遺産研究(国外)		2		
	世界遺産研究(国内)		2		
	異文化共有論		2		
	図書館概論		2		
	図書館サービス概論		2		
	情報サービス論		2		
	児童サービス論		2		
	博物館概論		2		
博物館教育論		2			
博物館情報・メディア論		2			
デジタルアーカイブズ		2			
知的財産所有論		2			
社会科学系	文化人類学		2		
	民俗学概論		2		
	環境歴史学概論		2		
	地方自治論		2		
	生涯学習論Ⅰ		2		
	生涯学習論Ⅱ		2		
	地域創造と経営Ⅰ		2		
	地域創造と経営Ⅱ		2		
芸術系	マンガ概論		2		
	芸術表現Ⅰ		2		
	芸術表現Ⅱ		2		
	芸術表現Ⅲ		2		
	芸術表現Ⅳ		2		
	デザイン概論		2		

	英米文学概論		2		科目の履修は、文学部共通専門科目及びそれぞれの学科の専門科目から68単位以上修得するものとする
	英文法1		2		
	英文法2		2		
	社会とデザインⅠ		2		
	社会とデザインⅡ		2		
	アートマネジメント		2		
日本語系	ビジネス日本語（聴読解）1		1		
	ビジネス日本語（聴読解）2		1		
	ビジネス日本語（ライティング）1		1		
	ビジネス日本語（ライティング）2		1		
	ビジネス日本語（コミュニケーション）1		1		
	ビジネス日本語（コミュニケーション）2		1		
総合系	地域社会連携PBL1		1		
	地域社会連携PBL2		2		
	地域社会連携PBL3		4		

2) 国際言語・文化学科専門科目

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
演習科目	発展演習	発展演習 1 (国際言語・文化)	1			
		発展演習 2 (国際言語・文化)	1			
	専門演習	専門演習 1 (古典文学)		1		} 1 単位選択必修
		専門演習 1 (近代文学)		1		
		専門演習 1 (日本語学)		1		
		専門演習 1 (英語・英米文学)		1		
		専門演習 1 (絵画)		1		
		専門演習 1 (デザイン)		1		
		専門演習 1 (マンガ)		1		
		専門演習 1 (映像・アニメーション)		1		
		専門演習 1 (言語文化)		1		
		専門演習 2 (古典文学)		1		
		専門演習 2 (近代文学)		1		
		専門演習 2 (日本語学)		1		
		専門演習 2 (英語・英米文学)		1		
		専門演習 2 (絵画)		1		
		専門演習 2 (デザイン)		1		
		専門演習 2 (マンガ)		1		
		専門演習 2 (映像・アニメーション)		1		
		専門演習 2 (言語文化)		1		
	卒業演習	卒業演習 1 (日本語・日本文学)		1		} 1 単位選択必修
		卒業演習 1 (英語・英米文学)		1		
		卒業演習 1 (芸術表現)		1		
		卒業演習 2 (日本語・日本文学)		1		} 1 単位選択必修
		卒業演習 2 (英語・英米文学)		1		
		卒業演習 2 (芸術表現)		1		
	専門基礎科目	日本文学史		2		
日本文学基礎			2			
日本語学基礎			2			
日本文学講義 1 (古典文学 1)			2			
日本文学講義 2 (古典文学 2)			2			
日本文学講義 3 (近代文学 1)			2			
日本文学講義 4 (近代文学 2)			2			
漢文学概論			2			
日本語学講義 1 (音声言語)			2			
日本語学講義 2 (日本語の語彙)			2			
日本語学講義 3 (日本語の文法)			2			
日本語学講義 4 (日本語史)			2			
日本語教育概論 1			2			
日本語教育概論 2			2			
日本語教育教材論			2			
日本語教育キャリア形成論			2			
英会話 1			1			
英会話 2			1			

学科専門科目

英文学史		2	
米文学史		2	
英米文学講読		2	
英米文学作品研究Ⅰ		2	
英米文学作品研究Ⅱ		2	
日英比較文化論		2	
アメリカンスタディーズ		2	
言語文化論Ⅰ		2	
言語文化論Ⅱ		2	
絵画表現		2	
基礎デザイン		2	
比較文化論Ⅰ		2	
比較文化論Ⅱ		2	
日本美術史概論		2	
東洋美術史概論		2	
西洋美術史概論		2	
芸術と環境Ⅰ		2	
芸術と環境Ⅱ		2	
絵画技法Ⅰ		2	
絵画技法Ⅱ		2	
経営とデザインⅠ		2	
経営とデザインⅡ		2	
デッサンⅠ		2	
彫塑Ⅰ		2	
工芸Ⅰ		2	
造形演習Ⅰ		2	
マンガ基礎技術Ⅰ		2	
マンガ基礎技術Ⅱ		2	
アニメーション概論		2	
キャラクター制作		2	
マンガメディア表現		2	
映像・アニメーションⅠ		2	
映像・アニメーションⅡ		2	
カラー・イメージデザインⅠ		2	
カラー・イメージデザインⅡ		2	
AI・データサイエンス実践		2	
日本語・ 日本文学	日本文学研究1（古典文学1）		2
	日本文学研究2（古典文学2）		2
	日本文学研究3（近代文学1）		2
	日本文学研究4（近代文学2）		2
	日本文学研究5（現代文学1）		2
	日本文学研究6（現代文学2）		2
	漢文学特論		2
	日本語学研究1（文法研究）		2
	日本語学研究2（現代語研究）		2
	日本語学研究3（文字表記研究）		2
	日本語学研究4（古代語研究）		2

コース専門科目	英語・英米文学	英会話 3		1		
		英会話 4		1		
		英会話 5		1		
		英会話 6		1		
		英語学概論		2		
		英語音声学		2		
		英語学講義 1		2		
		英語学講義 2		2		
		C. E. C. (Composition for English Communication)1		1		
		C. E. C. (Composition for English Communication)2		1		
		A. L. E. (Active Learning of English)1		2		
		A. L. E. (Active Learning of English)2		2		
		現代英語圏文化特講 1		2		
		現代英語圏文化特講 2		2		
		芸術表現	美術工芸論		2	
			比較文化特論 I		2	
	比較文化特論 II			2		
	言語文化特論 I			2		
	言語文化特論 II			2		
	芸術専門 I			2		
	芸術専門 II			2		
	芸術専門 III			2		
	芸術専門 IV			2		
	CG 演習 I			2		
	CG 演習 II			2		
	編集演習 I			2		
	編集演習 II		2			
	デザイン実習		2			
グラフィックデザイン I		2				
グラフィックデザイン II		2				
卒業論文		6	} 1 科目選択必修			
卒業制作		6				
卒業研究		4				

3) 史学・文化財学科専門科目

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
演習科目	発展演習	発展演習1 (史学・文化財学)	1		1 単位選択必修	
		発展演習2 (史学・文化財学)	1			
	専門演習	専門演習1 (旧石器・縄文考古学)		1		
		専門演習1 (弥生・古墳考古学)		1		
		専門演習1 (歴史考古学)		1		
		専門演習1 (保存修復学)		1		
		専門演習1 (東洋史)		1		
		専門演習1 (西洋史)		1		
		専門演習1 (古代・中世史)		1		
		専門演習1 (近世史)		1		
		専門演習1 (近現代史)		1		
		専門演習1 (アーカイブズ学)		1		
		専門演習1 (民俗学)		1		
		専門演習2 (旧石器・縄文考古学)		1		
		専門演習2 (弥生・古墳考古学)		1		
		専門演習2 (歴史考古学)		1		
		専門演習2 (保存修復学)		1		
		専門演習2 (東洋史)		1		
		専門演習2 (西洋史)		1		
		専門演習2 (古代・中世史)		1		
		専門演習2 (近世史)		1		
		専門演習2 (近現代史)		1		
		専門演習2 (アーカイブズ学)		1		
		専門演習2 (民俗学)		1		
		卒業演習	卒業演習1 (考古学・文化財科学)			1
			卒業演習1 (東洋史)			1
			卒業演習1 (西洋史)			1
			卒業演習1 (古代・中世史)			1
			卒業演習1 (近世史)			1
			卒業演習1 (近現代史)			1
		卒業演習1 (アーカイブズ学)		1		
		卒業演習1 (民俗学)		1		
		卒業演習2 (考古学・文化財科学)		1		
		卒業演習2 (東洋史)		1		
		卒業演習2 (西洋史)		1		
		卒業演習2 (古代・中世史)		1		
		卒業演習2 (近世史)		1		
		卒業演習2 (近現代史)		1		
		卒業演習2 (アーカイブズ学)		1		
		卒業演習2 (民俗学)		1		
	専門基礎科目	アーカイブズ論		2		
		アーカイブズ管理論		2		
		レコードマネジメント論Ⅰ		2		
		レコードマネジメント論Ⅱ		2		
		日本史の基礎1		2		
		日本史の基礎2		2		
		世界史の基礎1 (西洋史)		2		
		世界史の基礎2 (東洋史)		2		
		地理学の基礎		2		
		日本史講義1 (古代・中世史料論)		2		
		日本史講義2 (近世史料論)		2		
		日本史講義3 (近現代史料論)		2		

学科専門科目	世界史講義1 (東洋史)	2	
	世界史講義2 (西洋史)	2	
	世界史講義3 (文明史)	2	
	民俗学講義	2	
	考古学講義1 (先史考古資料論1)	2	
	考古学講義2 (先史考古資料論2)	2	
	考古学講義3 (歴史考古資料論)	2	
	文化財科学講義 (文化財保存学)	2	
	史学概論	2	
	歴史地理	2	
	社会学概論	2	
	経済学概論	2	
	法律学概論	2	
	政治学概論	2	
	法制史	2	
	国際関係概論	2	
	国際交渉論	2	
	宗教史	2	
	人類学総論	2	
	文化財保護論	2	
	観光文化財論	2	
	環境史	2	
	地誌学	2	
博物館資料論	2		
博物館経営論	2		
AI・データサイエンス実践	2		
コース専門科目	考古学・文化財科学	考古学特講1 (先史考古学)	2
		考古学特講2 (歴史考古学)	2
		考古学特講3 (考古学史)	2
		文化財科学特講1 (科学分析)	2
		文化財科学特講2 (保存修復)	2
		考古学実習I (調査整理法)	1
		考古学実習II (調査整理法)	1
		文化財科学実習I (機器分析)	1
		文化財科学実習II (修復)	1
		埋蔵文化財実習I (遺跡発掘)	1
		埋蔵文化財実習II (遺跡発掘)	1
		埋蔵文化財実習III (インターンシップ)	1
		文化財科学実習III (インターンシップ)	1
	世界史	世界史特講1 (東洋史)	2
		世界史特講2 (西洋史)	2
		世界史特講3 (文明史)	2
		世界史文献講読1 (東洋史)	1
		世界史文献講読2 (西洋史)	1
	日本史・アーカイブズ	日本史特講1 (古代・中世史)	2
		日本史特講2 (近世史)	2
		日本史特講3 (近現代史)	2
		民俗学特講	2
		アーカイブズ実習I	1
アーカイブズ実習II		1	
日本史実習		1	
民俗学実習	1		
卒業論文	6	} 1科目選択必修	
卒業研究	4		

4) 人間関係学科専門科目

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
演習科目	発展演習	発展演習 1 (人間関係)	1			
		発展演習 2 (人間関係)	1			
	専門演習	専門演習 1 (社会福祉)		1		} 1 単位選択必修
		専門演習 1 (心理)		1		
		専門演習 1 (教育・生涯スポーツ)		1		
		専門演習 2 (社会福祉)		1		} 1 単位選択必修
		専門演習 2 (心理)		1		
		専門演習 2 (教育・生涯スポーツ)		1		
	卒業演習	卒業演習 1 (社会福祉)		1		} 1 単位選択必修
		卒業演習 1 (心理)		1		
		卒業演習 1 (教育・生涯スポーツ)		1		
		卒業演習 2 (社会福祉)		1		} 1 単位選択必修
		卒業演習 2 (心理)		1		
		卒業演習 2 (教育・生涯スポーツ)		1		
学科専門科目	専門基礎科目	社会学と社会システム		2		
		心理学と心理的支援		2		
		社会福祉の原理と政策 I		2		
		社会福祉の原理と政策 II		2		
		ソーシャルワークの基盤と専門職 I		2		
		ソーシャルワークの基盤と専門職 II		2		
		心理学概論 I		2		
		心理学概論 II		2		
		公認心理師の職責		2		
		心理学統計法		2		
		神経・生理心理学		2		
		現代の精神保健の課題と支援 I		2		
		現代の精神保健の課題と支援 II		2		
		医学概論		2		
		人体の構造と機能及び疾病		2		
		社会・集団・家族心理学		2		
		産業・組織心理学		2		
		学習・言語心理学		2		
		レクリエーション指導法		2		
		福祉サービスの組織と経営		2		
		高齢者福祉		2		
		障害者福祉		2		
		児童・家庭福祉		2		
		刑事司法と福祉		2		
		貧困に対する支援		2		
		地域福祉と包括的支援体制 I		2		
		地域福祉と包括的支援体制 II		2		
		権利擁護を支える法制度		2		
		ソーシャルワークの理論と方法 I		2		
		ソーシャルワークの理論と方法 II		2		
保健医療と福祉		2				
精神保健福祉制度論		2				

	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2	
	精神疾患とその治療Ⅰ	2	
	精神疾患とその治療Ⅱ	2	
	精神医学と精神医療Ⅰ	2	
	精神医学と精神医療Ⅱ	2	
	社会保障Ⅰ	2	
	社会保障Ⅱ	2	
	社会福祉調査の基礎	2	
	社会学概論	2	
	経済学概論	2	
	哲学概論	2	
	AI・データサイエンス実践	2	
	災害支援チーム医療論	1	
社会福祉領域	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	2	
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	1	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1	
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	1	
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	1	
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	1	
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	4	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2	
	精神障害リハビリテーション論	2	
	福祉特別演習Ⅰ	1	
	福祉特別演習Ⅱ	1	
	福祉特別演習Ⅲ	1	
心理領域	感情・人格心理学	2	
	障害者・障害児心理学	2	
	健康・医療心理学	2	
	福祉心理学	2	
	教育・学校心理学	2	
	司法・犯罪心理学	2	
	関係行政論	2	
	心理学研究法	2	
	知覚・認知心理学	2	
	発達心理学概論	2	
	心理学実験Ⅰ	2	
	心理学実験Ⅱ	2	
	臨床心理学概論	2	
	心理学的支援法Ⅰ	2	
	心理学的支援法Ⅱ	2	
	心理的アセスメントⅠ	2	
	心理的アセスメントⅡ	2	
	心理演習Ⅰ	1	
	心理演習Ⅱ	1	
	心理実習	4	

教育・生涯 スポーツ領域	スポーツ社会学		2	
	スポーツ教育学		2	
	コーチング論		2	
	トレーニング論		2	
	教育調査論		2	
	教育学		2	
	地域教育論		2	
	総合的な学習の時間の指導法		2	
	教育方法論（ICT活用を含む。）		2	
	教育の制度と経営		2	
	卒業論文		6	

II 食物栄養科学部

卒業要件単位数124単位以上修得

1. 教養科目群から24単位以上修得
2. 専門科目群から84単位以上修得
3. 教養科目群及び専門科目群から16単位以上修得  
(編入学生は必修から除く)

1. 教養科目群

1) 食物栄養学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
食物栄養科学 基盤領域	導入演習 (食物栄養)	1			6単位以上選択必修
	基礎演習 (食物栄養)	1			
	学生生活における健康管理	2			
	アカデミック・スキルズ	2			
	食とバイオ	2			
	一般化学	2			
	食生活論	2			
	グローバル食文化研修 I	2			
グローバル食文化研修 II	2				
コア1 地域社会総合領域	大学史と別府大学	1			クォーター制で実施  4単位以上選択必修
	グローバルと文化	2			
	キャリア教育 I	2			
	キャリア教育 II	2			
	インターンシップ基礎	1			
	インターンシップ I	1			
	インターンシップ II	1			
	インターンシップ III	1			
	市民生活とアーカイブズ	2			
	NPO論	2			
	トップマネジメント講話	2			
	手話	2			
	地域と世界農業遺産	2			
	世界農業遺産体験演習	2			
	世界農業遺産マネジメント演習	2			
	地域社会フィールドワーク演習	2			
	災害支援と防災対策	2			
	汎領域研究 1 (単位互換)	1			
汎領域研究 2 (単位互換)	1				
汎領域研究 3 (単位互換)	1				
汎領域研究 4 (単位互換)	1				
コア2 人間と文化探求 領域	文学	2			2単位以上選択必修
	科学史	2			
	哲学	2			
	倫理学	2			
	生命倫理学	2			
	歴史学	2			
	文化史	2			
	体育実技 I	1			
	体育実技 II	1			
	スポーツと健康	2			
	心理学 I	2			
	心理学 II	2			
コア3 社会科学探求領域	法学(日本国憲法)	2			6単位以上選択必修
	法律学	2			
	社会学	2			
	マスコミ論	2			
コア4 自然科学・情報 基盤領域	科学技術論	2			6単位以上選択必修
	生物学	2			
	科学と社会	2			
	数学基礎 I	1			
	アルゴリズムとプログラミング	1			
	統計学 I	1			
	データサイエンス基礎	1			
	情報リテラシー	1			
	数理・データサイエンス入門	2			
	データエンジニアリング基礎	1			
	AI基礎	1			
コア5 国際理解のための 言語領域	英語 1	1			6単位以上選択必修
	英語 2	1			
	英語 3	1			
	英語 4	1			
	英語 5	1			
	英語 6	1			
	TOEIC 1	1			
	TOEIC 2	1			
	英語語彙 1	1			
	英語語彙 2	1			
	英語ステップアップ演習 1	1			
	英語ステップアップ演習 2	1			
	フランス語基礎 1	1			
	フランス語基礎 2	1			
	中国語基礎 1	1			
	中国語基礎 2	1			
	韓国語基礎 1	1			
	韓国語基礎 2	1			
	ドイツ語基礎 1	1			
	ドイツ語基礎 2	1			
	海外語学研修 1	2			
	海外語学研修 2	2			
	海外語学研修 3	2			
	海外語学研修 4	2			

2) 発酵食品学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
食物栄養科学 基盤領域	導入演習 (発酵食品)	1			6単位以上選択必修
	基礎演習 (発酵食品)	1			
	学生生活における健康管理	2			
	アカデミック・スキルズ	2			
	食とバイオ	2			
	一般化学	2			
	食生活論	2			
	グローバル食文化研修 I	2			
グローバル食文化研修 II	2				
コア1 地域社会総合領域	大学史と別府大学	1			クォーター制で実施  4単位以上選択必修
	グローバルと文化	2			
	キャリア教育 I	2			
	キャリア教育 II	2			
	インターンシップ基礎	1			
	インターンシップ I	1			
	インターンシップ II	1			
	インターンシップ III	1			
	市民生活とアーカイブズ	2			
	NPO論	2			
	トップマネジメント講話	2			
	手話	2			
	地域と世界農業遺産	2			
	世界農業遺産体験演習	2			
	世界農業遺産マネジメント演習	2			
	地域社会フィールドワーク演習	2			
	災害支援と防災対策	2			
	汎領域研究 1 (単位互換)	1			
汎領域研究 2 (単位互換)	1				
汎領域研究 3 (単位互換)	1				
汎領域研究 4 (単位互換)	1				
コア2 人間と文化探求 領域	文学	2			2単位以上選択必修
	科学史	2			
	哲学	2			
	倫理学	2			
	生命倫理学	2			
	歴史学	2			
	文化史	2			
	体育実技 I	1			
	体育実技 II	1			
	スポーツと健康	2			
	心理学 I	2			
	心理学 II	2			
コア3 社会科学探求領域	法学(日本国憲法)	2			6単位以上選択必修
	法律学	2			
	社会学	2			
	マスコミ論	2			
コア4 自然科学・情報 基盤領域	科学技術論	2			6単位以上選択必修
	生物学	2			
	科学と社会	2			
	数学基礎 I	1			
	アルゴリズムとプログラミング	1			
	統計学 I	1			
	データサイエンス基礎	1			
	情報リテラシー	1			
	数理・データサイエンス入門	2			
	データエンジニアリング基礎	1			
	AI基礎	1			
コア5 国際理解のための 言語領域	英語 1	1			6単位以上選択必修
	英語 2	1			
	英語 3	1			
	英語 4	1			
	英語 5	1			
	英語 6	1			
	TOEIC 1	1			
	TOEIC 2	1			
	英語語彙 1	1			
	英語語彙 2	1			
	英語ステップアップ演習 1	1			
	英語ステップアップ演習 2	1			
	フランス語基礎 1	1			
	フランス語基礎 2	1			
	中国語基礎 1	1			
	中国語基礎 2	1			
	韓国語基礎 1	1			
	韓国語基礎 2	1			
	ドイツ語基礎 1	1			
	ドイツ語基礎 2	1			
	海外語学研修 1	2			
	海外語学研修 2	2			
	海外語学研修 3	2			
	海外語学研修 4	2			

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目

	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
日本語	総合日本語 1 (読む・書く)	2			外国人・帰国子女はこのうち 12単位までを教養科目群の単 位に替えることができる。  } 2単位以上選択必修 } 2単位以上選択必修 } 2単位以上選択必修
	総合日本語 2 (読む・書く)	2			
	総合日本語 3 (聴く・話す)	2			
	総合日本語 4 (聴く・話す)	2			
	アカデミック日本語 1 (口頭発表)	2			
	アカデミック日本語 2 (口頭発表)	2			
	アカデミック日本語 3 (論文作成)	2			
	アカデミック日本語 4 (論文作成)	2			
	アカデミック日本語 5 (言語知識)	2			
	アカデミック日本語 6 (言語知識)	2			

II 食物栄養科学部 1.～2. (略)

3. 食物栄養科学部専門科目群

1) 食物栄養学科専門科目

科目区分	授 業 科 目	単 位 数			備 考		
		必 修	選 択	自 由			
専門基礎分野	社会・環境と健康	社会福祉論	2			卒業要件単位数 84単位以上	
		社会福祉援助技術実習		1			
		健康管理概論		2			
		公衆衛生学Ⅰ	2				
		公衆衛生学Ⅱ	2				
	人体の構造と機能 及び疾病の成り立 ち	解剖生理学	2				
		解剖生理学実験	1				
		生化学Ⅰ	2				
		生化学Ⅱ		2			
		生化学実験	1				
		運動生理学	2				
		運動生理学実験		1			
		医学概論・臨床医学入門	2				
		病態生理学	2				
		微生物学(生体防御を含む)		2			
	食べ物と健康	食品学Ⅰ	2				
		食品学Ⅱ		2			
		食品学実験		1			
		食品加工学	2				
		食品加工学実習	1				
		調理学	2				
		基礎調理実習		1			
		調理実習	1				
		応用調理実習	1				
		調理学実験		1			
		食品衛生学	2				
		食品衛生学実験	1				
		専門分野	基礎栄養学	基礎栄養学	2		
	基礎栄養学実験			1			
	応用栄養学		応用栄養学Ⅰ	2			
			応用栄養学Ⅱ	2			
			応用栄養学Ⅲ		2		
			応用栄養学実習	1			
実践栄養学実習			1				
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ		2				
	栄養教育論Ⅱ			2			
	栄養カウンセリング論		2				
	栄養教育論実習		1				
	栄養カウンセリング実習		1				
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ		2				
	臨床栄養学Ⅱ		2				
	臨床栄養学Ⅲ			2			
	臨床福祉介護論		2				
	臨床栄養学実習		1				
	臨床介護栄養実習		1				
公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ		2				
	公衆栄養学Ⅱ		2				
	地域栄養活動演習			1			
	公衆栄養学実習		1				
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ		2				
	給食経営管理論Ⅱ		2				
	給食経営管理実習		1				
総合演習	実験・実習事前総合演習			1			
	総合栄養マネジメント演習Ⅰ		1				
	総合栄養マネジメント演習Ⅱ			1			
	総合栄養マネジメント演習Ⅲ			1			
臨地実習	臨床栄養学臨地実習			2			
	公衆栄養学臨地実習			1			
	給食運営臨地実習		1				
特別演習	管理栄養士演習Ⅰ			1			
	管理栄養士演習Ⅱ		1				
	管理栄養士発展演習Ⅰ		1				
	管理栄養士発展演習Ⅱ		1				
専門演習	実践専門演習Ⅰ	1					
	実践専門演習Ⅱ	1					

自由選択科目	フードスペシャリスト論		2	
	フードコーディネーター論		2	
	フードマーケティング論		2	
	実践スポーツ栄養学		2	
	栄養生化学		2	
	医と食		1	
	食物アレルギーと栄養指導		2	
	病態栄養医学		2	
	地域健康支援演習		1	
	地域健康・運動指導実習		1	
	知的財産所有論		2	
	地域社会連携PBL1		1	
	地域社会連携PBL2		2	
	地域社会連携PBL3		4	
	AI・データサイエンス実践		2	
	災害支援チーム医療論		1	
栄養教諭免許科目	学校栄養指導論Ⅰ		2	
	学校栄養指導論Ⅱ		2	
卒業論文			6	

2) 発酵食品学科専門科目

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	化学の基礎	基礎化学	2		卒業要件単位数 84単位以上	
		分析化学	2			
		有機化学	2			
	バイオサイエンスの基礎	生化学 I	2			
		細胞生物学	2			
		微生物学	2			
		バイオテクノロジー論	2			
		生化学実験	1			
	発酵の基礎	発酵食品学	2			
		発酵食品製造実習	1			
	食の流通・衛生の基礎	フードシステム論	2			
		食品保蔵学	2			
		会計学の基礎		2		
		簿記		2		
		公衆衛生学	2			
		食品衛生学	2			
	香りの基礎	香料学概論	2			
		香料化学		2		
	フードサイエンスの基礎	食品化学	2			
		食品分析学		2		
		食品分析化学実験	1			
健康の基礎	医学概論	2				
	栄養化学	2				
	保健栄養食品学		2			
専門科目	バイオサイエンス	分子生物学		2		
		生化学 II		2		
		微生物工学	2			
		細胞工学	2			
		微生物工学実験	1			
		環境微生物学	2			
		資源環境科学総論		2		
		生体機能分子学実験	1			
	発酵	醸造微生物学	2			
		酵母学	2			
		酒類製造学		2		
		調味食品学	2			
		酒類生産学実験	1			
	食品の流通・衛生	品質鑑定論	2			
		食品関係法規	2			
		食品衛生学実験	1			
		フードマーケティング論		2		
		地域経営論		2		
	香り	官能評価学		2		
		香料機能学		2		
		香料学実験	1			
フードサイエンス	食品加工学		2			
	食品加工学実習		1			
総合演習	発展演習	1				
	専門演習	1				
関連科目	物理学		2			
	基礎地学		2			
	物理学実験		1			
	基礎地学実験		1			
	AI・データサイエンス実践		2			
地域社会連携 PBL 1			1		} 1科目選択必修	
地域社会連携 PBL 2			2			
地域社会連携 PBL 3			4			
外書講読		2				
卒業研究		4				
卒業論文		6				
論文作成法		2				

III 国際経営学部

卒業要件単位数124単位以上修得

1. 教養科目群から32単位以上修得
  - 基礎ゼミ：2単位必修
  - コア1：4単位以上を含む。
  - コア2・3：各4単位以上を含む。
  - コア4・5：各6単位以上を含む。
2. 専門科目群から68単位以上修得  
卒業論文6単位を含む。
3. 教養科目群及び専門科目群から24単位以上修得

1. 教養科目群

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
基礎ゼミ	導入演習（国際経営）	1			クォーター制で実施	
	基礎演習（国際経営）	1				
コア1 学際科目	大学史と別府大学		1			4単位以上選択必修
	グローバルと文化		2			
	キャリア教育Ⅰ	2				
	キャリア教育Ⅱ		2			
	インターンシップ基礎	1				
	インターンシップⅠ		1			
	インターンシップⅡ		1			
	インターンシップⅢ		1			
	市民生活とアーカイブズ		2			
	NPO論		2			
	トップマネジメント講話		2			
	手話		2			
	地域と世界農業遺産		2			
	世界農業遺産体験演習		2			
	世界農業遺産マネジメント演習		2			
	地域社会フィールドワーク演習		2			
	災害支援と防災対策		2			
汎領域研究1（単位互換）		1				
汎領域研究2（単位互換）		1				
汎領域研究3（単位互換）		1				
汎領域研究4（単位互換）		1				
コア2 人間と文化の 探求	文学		2		4単位以上選択必修	
	哲学		2			
	倫理学		2			
	生命倫理学		2			
	心理学Ⅰ		2			
	心理学Ⅱ		2			
	歴史学		2			
	文化史		2			
	科学史		2			
	社会思想史		2			
	体育実技Ⅰ		1			
	体育実技Ⅱ		1			
	スポーツと健康		2			
コア3 現代社会の多 面的理解	法学(日本国憲法)		2			
	法律学		2			

コア科目

	行政法		2		4 単位以上選択必修
	社会学		2		
	地域福祉論		2		
	社会調査法		2		
	政治学		2		
	マスコミ論		2		
	国際関係論		2		
	地域環境論		2		
	国際理解 I		2		
	国際理解 II		2		
	ボランティア活動論		2		
	人権教育論		2		
	コア4 科学と情報	生物学		2	
数学基礎 I			1		
アルゴリズムとプログラミング			1		
化学基礎			2		
科学技術論			2		
科学と社会			2		
情報リテラシー		1			
数理・データサイエンス入門		2			
論理学			2		
統計学 I			1		
データサイエンス基礎			1		
データエンジニアリング基礎			1		
AI基礎			1		

コア5 国際理解のための言語	英語1	1		
	英語2	1		
	英語3	1		
	英語4	1		
	英語5		1	
	英語6		1	
	TOEIC1		1	
	TOEIC2		1	
	TOEIC3		1	
	TOEIC4		1	
	英語語彙1		1	
	英語語彙2		1	
	英語ステップアップ演習1		1	
	英語ステップアップ演習2		1	
	ドイツ語基礎1		1	
	ドイツ語基礎2		1	
	ドイツ語コミュニケーション1		1	
	ドイツ語コミュニケーション2		1	
	フランス語基礎1		1	
	フランス語基礎2		1	
	フランス語コミュニケーション1		1	
	フランス語コミュニケーション2		1	
	中国語基礎1		1	
	中国語基礎2		1	
	中国語コミュニケーション1		1	
	中国語コミュニケーション2		1	
	韓国語基礎1		1	
	韓国語基礎2		1	
韓国語コミュニケーション1		1		
韓国語コミュニケーション2		1		
海外語学研修1		2		
海外語学研修2		2		
海外語学研修3		2		
海外語学研修4		2		

6 単位以上選択必修

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本語 総合日本語1 (読む・書く)		2		外国人・帰国子女はこのうち16単位までを教養科目群の単位に替えることができる。
総合日本語2 (読む・書く)		2		
総合日本語3 (聴く・話す)		2		
総合日本語4 (聴く・話す)		2		
アカデミック日本語1 (口頭発表)		2		
アカデミック日本語2 (口頭発表)		2		
アカデミック日本語3 (論文作成)		2		
アカデミック日本語4 (論文作成)		2		
アカデミック日本語5 (言語知識)		2		
アカデミック日本語6 (言語知識)		2		

2 単位以上選択必修

2 単位以上選択必修

2 単位以上選択必修

### 3. 国際経営学部専門科目群

#### 1) 国際経営学部 専門関連科目

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
関連科目	日本史概論 1		2		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">           専門科目の卒業要件単位数            国際経営学部国際経営学            科 68単位以上         </div> <div style="font-size: 2em; margin-bottom: 5px;">{</div> 専門科目の履修は、国際経営 学部専門関連科目及び国際経 営学科専門科目から68単位以 <div style="font-size: 2em; margin-top: 5px;">}</div>
	日本史概論 2		2		
	世界史概論 1 (西洋史)		2		
	世界史概論 2 (東洋史)		2		
	図書館概論		2		
	生涯学習論 I		2		
	図書館サービス概論		2		
	情報サービス論		2		
	児童サービス論		2		

2) 国際経営学部 専門科目

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
演習科目	発展演習 1 (国際経営)	1			
	発展演習 2 (国際経営)	1			
	専門演習 1 (国際経営)	1			
	専門演習 2 (国際経営)	1			
	卒業演習 1 (国際経営)	1			
	卒業演習 2 (国際経営)	1			
共通基礎科目	経営学の基礎	2			
	会計学の基礎	2			
	観光・地域経営の基礎	2			
	ビジネスリテラシー		2		
	簿記 I		2		
	簿記 II		2		
	経済原論		2		
	ファイナンスリテラシー		2		
	観光リテラシー		2		
経営学分野	マーケティング論		2		
	経営管理論		2		
	生産システム論		2		
	経営組織論		2		
	経営史		2		
	経営情報論		2		
	経営戦略論		2		
	中小企業経営論		2		
	経営意思決定論		2		
	企業論		2		
	流通論		2		
	品質管理		2		
	スポーツマネジメント		2		
	リーダーシップ論		2		
	国内企業研修		2		
経済学分野	マクロ経済学		2		
	ミクロ経済学		2		
	ファイナンス論		2		
	銀行論		2		

学科専門

会計学分野	上級簿記Ⅰ		1	
	上級簿記Ⅱ		1	
	上級簿記Ⅲ		1	
	上級簿記Ⅳ		1	
	財務会計		2	
	原価計算		2	
	財務諸表論		2	
	管理会計		2	
	税務会計		2	
	経営分析		2	
観光・地域経営分野	観光資源論		2	
	環境と経済		2	
	旅行業実務		2	
	旅行地理		2	
	エネルギー戦略論		2	
	観光と地域		2	
	文化観光論		2	
	観光マネジメント		2	
	地域経営論		2	
	地域社会連携PBL1		1	
	地域社会連携PBL2		2	
	地域社会連携PBL3		4	
法律分野	民法		2	
	税法概論		2	
	ビジネス法務		2	
国際分野	国際コミュニケーション		2	
	国際マーケティング		2	
	国際経営論		2	
	多国籍企業論		2	
	国際会計		2	
	国際観光論		2	
	国際経済学		2	
	中国経済論		2	
	貿易論		2	
	海外企業研修		2	
情報分野	情報社会論		2	
	プログラミング		2	
	AI・データサイエンス実践		2	

地域創生プロジェクト	地域創生プロジェクト1		2	
	地域創生プロジェクト2		2	
	地域創生プロジェクト3		2	
	地域創生プロジェクト4		2	
	地域創生プロジェクト5		2	
キャリアアップ科目	旅行キャリアアップⅠ（旅行業法・約款）		1	
	旅行キャリアアップⅡ（旅行実務）		1	
	リテールマーケティングキャリアアップ		1	
	情報処理キャリアアップ		1	
	簿記キャリアアップⅠ		1	
	簿記キャリアアップⅡ		1	
	上級簿記キャリアアップ		1	
公務員分野	マクロ経済学特別講義		2	
	ミクロ経済学特別講義		2	
	公務員実務演習Ⅰ		1	
	公務員実務演習Ⅱ		1	
	公務員実務演習Ⅲ		1	
	公務員実務演習Ⅳ		1	
	公務員実務演習Ⅴ		1	
	公務員実務演習Ⅵ		1	
	公務員実務演習Ⅶ		1	
教職分野	地理学の基礎		2	
	政治学概論		2	
	社会学概論		2	
	法律学概論		2	
	国際関係概論		2	
	情報処理実習		2	
卒業論文	卒業論文	6		

IV 看護学部

卒業要件単位数124単位以上修得

1. 教養科目群から27単位以上修得（コア科目の選択科目から10単位以上）

基盤ゼミ：2単位必修

コア1・2：各2単位以上を含む。

コア3：2単位以上を含む。

コア4：6単位以上を含む。

コア5：3単位以上を含む。

2. 専門科目群から97単位以上修得

専門基礎分野：必修22単位以上を含む。

専門分野：必修72単位以上を含む。

1. 教養科目群

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
看護学部基盤ゼミ	基盤ゼミ導入演習	1				
	基盤ゼミ発展演習	1				
コア1 学際科目	大学史と別府大学	1				
	地域と世界農業遺産		2			
	グローバルと文化		2			
	キャリア教育Ⅰ		2			
	災害支援と防災対策		2			
	地域フィールドワーク演習	1				
	コア2 人間と文化の探求	哲学		2		
		文学		2		
		心理学Ⅰ		2		
		歴史学		2		
生命倫理学		2				
コア3 現代社会の多面的理解	スポーツと健康		2			
	経済学		2			
	地域福祉論		2			
	教育学	2				
	国際関係論		2			
	法律学		2			
	マスコミ論		2			
	人権教育論		2			
	ボランティア活動論		2			
	法学（日本国憲法）		2			
コア4 科学と情報	論理学	2				
	生物学		2			
	数学基礎Ⅰ		1			
	アルゴリズムとプログラミング		1			
	統計学Ⅰ	1				
	数理・データサイエンス入門	2				
	データサイエンス基礎		1			
	データエンジニアリング基礎		1			
コア5 国際理解のための言語	AI基礎		1			
	情報リテラシー	1				
	医療英語コミュニケーション	1				
	英語Ⅰ（A）		1		1単位選択必修	
	英語Ⅰ（M）		1			
	英語Ⅰ（B）		1			
	英語Ⅱ（A）		1		1単位選択必修	
	英語Ⅱ（M）		1			
	英語Ⅱ（B）		1			
	中国語基礎Ⅰ		1			
中国語基礎Ⅱ		1				
韓国語基礎Ⅰ		1				
韓国語基礎Ⅱ		1				

2. 看護学部専門科目群  
看護学部専門科目

科目区分	授業科目	単位数			備考											
		必修	選択	自由												
専門基礎分野	生物学の人間理解	生命科学 生体機能の調節Ⅰ 生体機能の調節Ⅱ 生体機能の調節Ⅲ 生体機能シミュレーション演習	1 1 1 1 1			専門科目の卒業要件単位数 97単位以上 専門基礎分野 22単位以上 専門分野 72単位以上										
	疾病と回復過程の理解	病態・治療論 生命維持機能の障害と診断治療 運動機能の障害と診断治療 代謝機能の障害と診断治療 生殖機能の障害と診断治療 薬理学 臨床薬理学 放射線療法と人間の反応 心理学的支援法 リハビリテーションと人間の反応 健康と栄養	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1													
			健康支援と社会保障制度	公衆衛生看護学概論 疫学 AI・データサイエンス実践 保健統計学 保健医療福祉行政論	2 2 2 2			2 2								
					基礎看護学		看護学概論 看護理論 看護過程論 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護方法論Ⅰ 基礎看護方法論Ⅱ 基礎看護方法論Ⅲ 家族看護論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ	2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 2								
								地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護援助論Ⅰ 地域・在宅看護援助論Ⅱ 地域・在宅看護シミュレーション演習 地域・在宅看護学実習Ⅰ 地域・在宅看護学実習Ⅱ	1 2 2 1 1 2						
										成人看護学	成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護シミュレーション演習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	1 2 2 1 1 2 2				
			老年看護学	老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護シミュレーション演習 老年看護学実習								1 2 1 2				
												小児看護学	小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護シミュレーション演習 小児看護学実習	1 2 1 2		
														母性看護学	母性看護学概論 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護シミュレーション演習 母性看護学実習	1 2 1 1 2
			精神看護学	精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護シミュレーション演習 精神看護学実習				1 2 1 2								
								国際看護学	国際看護活動論 海外研修	1 1	1					
	看護の統合と発展	看護管理論 医療安全マネジメント論 看護研究の基礎 看護研究の実践 がん看護 クリティカルケア リエゾン精神看護 災害看護 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習						1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 2 3			3単位以上選択必修					
			公衆衛生看護学	保健医療福祉行政活動論 公衆衛生看護支援論Ⅰ 公衆衛生看護支援論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 公衆衛生看護活動展開論Ⅳ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ				2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 2								

別表第2(学則第28条第2項)

教職に関する科目

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
教職論		2		
教育原論		2		
発達心理学		2		
特別支援教育論		2		
教育の制度と経営		2		
教育課程論		2		
国語科教育法Ⅰ		2		
国語科教育法Ⅱ		2		
国語科教育法Ⅲ		2		
国語科教育法Ⅳ		2		
美術科教育法Ⅰ		2		
美術科教育法Ⅱ		2		
美術科教育法Ⅲ		2		
美術科教育法Ⅳ		2		
英語科教育法Ⅰ		2		
英語科教育法Ⅱ		2		
英語科教育法Ⅲ		2		
英語科教育法Ⅳ		2		
社会科教育法Ⅰ		2		
社会科教育法Ⅱ		2		
社会科教育法Ⅲ		2		
社会科教育法Ⅳ		2		
地理歴史科教育法Ⅰ		2		
地理歴史科教育法Ⅱ		2		
公民科教育法Ⅰ		2		
公民科教育法Ⅱ		2		
理科教育法Ⅰ		2		
理科教育法Ⅱ		2		
理科教育法Ⅲ		2		
理科教育法Ⅳ		2		
商業科教育法Ⅰ		2		
商業科教育法Ⅱ		2		
道徳教育の理論と指導法		2		
特別活動論		2		

総合的な学習の時間の指導法		2	
道徳、総合的な学習の時間及び特別活動論		2	
教育方法論（ICT活用を含む。）		2	
生徒指導論（進路指導を含む。）		2	(進路指導を含む。)
生徒指導論		2	食物栄養学科
教育相談論		2	
実習指導		1	(事前・事後の指導を含む。)
介護等体験実習指導		1	(事前・事後の指導を含む。)
介護等体験実習		1	
教職実践演習（中・高）		2	
教職実践演習（栄養教諭）		2	
教育実習Ⅰ		2	
教育実習Ⅱ		2	
総合演習（人権問題）		1	
栄養教育実習指導		1	
栄養教育実習		1	
学校体験活動Ⅰ		1	
学校体験活動Ⅱ		1	
学校体験活動Ⅲ		1	
学校体験活動Ⅳ		1	
教育実践Ⅰ		1	
教育実践Ⅱ		1	

別表第3 (学則第28条第2項)

## 司書に関する科目

区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
基礎科目	生涯学習概論		2		
	図書館概論		2		
	図書館情報技術論		2		
	図書館制度・経営論		2		
図書館サービスに関する科目	図書館サービス概論		2		
	情報サービス論		2		
	児童サービス論		2		
	情報サービス演習Ⅰ		1		
	情報サービス演習Ⅱ		1		
図書館情報資源に関する科目	図書館情報資源概論		2		
	情報資源組織論		2		
	情報資源組織演習Ⅰ		1		
	情報資源組織演習Ⅱ		1		
選択科目	図書館基礎特論		1		
	図書館サービス特論		1		
	図書館情報資源特論		1		
	図書・図書館史		1		
	図書館施設論		1		
	図書館総合演習		1		
	図書館実習		1		

別表第4 (学則第28条第2項)

## 司書教諭に関する科目

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
学校経営と学校図書館		2		
学校図書館メディアの構成		2		
学習指導と学校図書館		2		
読書と豊かな人間性		2		
情報メディアの活用		2		

別表第5 (学則第28条第2項)

## 学芸員に関する科目

授業科目	単位数			備考	
	必修	選択	自由		
生涯学習概論		2			
博物館概論		2			
博物館展示論		2			
博物館資料論		2			
博物館経営論		2			
博物館資料保存論		2			
博物館情報・メディア論		2			
博物館教育論		2			
博物館実習		3			
考古学概論		2			学部共通専門科目
文化財科学概論		2			学部共通専門科目
世界遺産学概論		2			学部共通専門科目
民俗学概論		2			学部共通専門科目
環境歴史学概論		2			学部共通専門科目
美術史概論		2			学部共通専門科目
文化人類学		2			学部共通専門科目
日本美術史概論		2			国際言語・文化学科
東洋美術史概論		2			国際言語・文化学科
西洋美術史概論		2			国際言語・文化学科
日本史の基礎1		2			史学・文化財学科
世界史の基礎1 (西洋史)		2			史学・文化財学科
世界史の基礎2 (東洋史)		2			史学・文化財学科
分析化学		2			発酵食品学科
医学概論		2			発酵食品学科
香科学概論		2			発酵食品学科
調味食品学		2			発酵食品学科
食品分析学		2			発酵食品学科
基礎化学		2			発酵食品学科

別表第6(学則第28条第2項)  
日本語教員に関する科目

区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域言語と社会	文化史		2	
		国際関係論		2	
		日本語学講義4(日本語史)		2	
		日本語教育概論1		2	
		日本語教育概論2		2	
		日本語教育キャリア形成論		2	
		日本語学研究2(現代語研究)		2	
		比較文化研究		2	
教育に関わる領域	言語と心理	言語習得概論		2	
		心理学I		2	
		心理学II		2	
	言語と教育	日本語教育教材論		2	
		日本語教育実習指導1		1	
		日本語教育実習指導2		1	
		日本語教育実習1		1	
		日本語教育実習2		1	
		異文化共有論		2	
		情報リテラシー		1	
言語に関わる領域	言語	言語学概論		2	
		日本語学講義1(音声言語)		2	
		日本語学講義2(日本語の語彙)		2	
		日本語学講義3(日本語の文法)		2	
		日本語学研究3(文字表記研究)		2	
		日本語学研究4(古代語研究)		2	
		英語1		1	
		英語2		1	
		英語3		1	
		英語4		1	
		TOEIC1		1	
		TOEIC2		1	
		英語語彙1		1	
		英語語彙2		1	
		ドイツ語基礎1		1	
		ドイツ語基礎2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		韓国語基礎1		1	
		韓国語基礎2		1	
		英会話1		1	
		英会話2		1	
		ビジネス日本語(聴読解)1		1	
		ビジネス日本語(聴読解)2		1	

別表第7(学則第28条第2項)

文書館専門職(アーキビスト)に関する科目

授 業 科 目		単位数			備 考
		必修	選択	自由	
基礎科目	市民生活とアーカイブズ		2		
	行政法		2		
	日本史の基礎2		2		
	アーカイブズ論		2		
記録管理科目	アーカイブズ管理論		2		
	レコードマネジメント論Ⅰ		2		
	レコードマネジメント論Ⅱ		2		
	デジタルアーカイブズ		2		
記録資料科目	日本史講義1(古代・中世史料論)		2		
	日本史講義2(近世史料論)		2		
	日本史講義3(近現代史料論)		2		
	世界史講義1(東洋史)		2		
	世界史講義2(西洋史)		2		
	法制史		2		
	国際交渉論		2		
	宗教史		2		
	日本史特講1(古代・中世史)		2		
	日本史特講2(近世史)		2		
	日本史特講3(近現代史)		2		
実習科目	アーカイブズ実習Ⅰ		1		
	アーカイブズ実習Ⅱ		1		

別表第7の2(学則第28条第2項  
保健師に関する科目

授 業 科 目	単位数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
疫学	2			卒業要件単位数と合 わせて149単位以上修 得すること
保健医療福祉行政活動論	2			
公衆衛生看護支援論Ⅰ	2			
公衆衛生看護支援論Ⅱ	2			
公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	2			
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	2			
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ	2			
公衆衛生看護活動展開論Ⅳ	2			
公衆衛生看護管理論Ⅰ	2			
公衆衛生看護管理論Ⅱ	2			
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3			
公衆衛生看護学実習Ⅱ	2			

別表第8(学則第62条)  
別科日本語課程専門科目

科目区分	内容区分	授業科目	単位数			備考1
			必修	選択	自由	
総合科目	1	総合日本語学習 文法Ⅰ (初級)		2		修了要件 総合科目の内容区分1～6にわたって各2科目履修し、20単位修得。
		総合日本語学習 文法Ⅰ (初中級)		2		
		総合日本語学習 文法Ⅰ (中級)		2		
		総合日本語学習 文法Ⅰ (中上級)		2		
		総合日本語学習 文法Ⅰ (上級)		2		
		総合日本語学習 文法Ⅱ (初級)		2		
		総合日本語学習 文法Ⅱ (初中級)		2		
		総合日本語学習 文法Ⅱ (中級)		2		
		総合日本語学習 文法Ⅱ (中上級)		2		
	総合日本語学習 文法Ⅱ (上級)		2			
	2	総合日本語学習 読解Ⅰ (初級)		2		
		総合日本語学習 読解Ⅰ (初中級)		2		
		総合日本語学習 読解Ⅰ (中級)		2		
		総合日本語学習 読解Ⅰ (中上級)		2		
		総合日本語学習 読解Ⅰ (上級)		2		
		総合日本語学習 読解Ⅱ (初級)		2		
		総合日本語学習 読解Ⅱ (初中級)		2		
		総合日本語学習 読解Ⅱ (中級)		2		
		総合日本語学習 読解Ⅱ (中上級)		2		
	3	総合日本語学習 文字・語彙Ⅰ (初級)		2		
		総合日本語学習 文字・語彙Ⅰ (初中級)		2		
		総合日本語学習 文字・語彙Ⅰ (中級)		2		
		総合日本語学習 文字・語彙Ⅰ (中上級)		2		
		総合日本語学習 文字・語彙Ⅰ (上級)		2		
		総合日本語学習 文字・語彙Ⅱ (初級)		2		
		総合日本語学習 文字・語彙Ⅱ (初中級)		2		
		総合日本語学習 文字・語彙Ⅱ (中級)		2		
		総合日本語学習 文字・語彙Ⅱ (中上級)		2		
	4	総合日本語学習 聴解Ⅰ (初級)		2		
		総合日本語学習 聴解Ⅰ (初中級)		2		
		総合日本語学習 聴解Ⅰ (中級)		2		
		総合日本語学習 聴解Ⅰ (中上級)		2		
		総合日本語学習 聴解Ⅰ (上級)		2		
		総合日本語学習 聴解Ⅱ (初級)		2		
		総合日本語学習 聴解Ⅱ (初中級)		2		
		総合日本語学習 聴解Ⅱ (中級)		2		
総合日本語学習 聴解Ⅱ (中上級)			2			
5	総合日本語学習 作文Ⅰ (初級)		1			
	総合日本語学習 作文Ⅰ (初中級)		1			
	総合日本語学習 作文Ⅰ (中級)		1			
	総合日本語学習 作文Ⅰ (中上級)		1			
	総合日本語学習 作文Ⅰ (上級)		1			
	総合日本語学習 作文Ⅱ (初級)		1			
	総合日本語学習 作文Ⅱ (初中級)		1			
	総合日本語学習 作文Ⅱ (中級)		1			
	総合日本語学習 作文Ⅱ (中上級)		1			
6	総合日本語学習 会話Ⅰ (初級)		1			
	総合日本語学習 会話Ⅰ (初中級)		1			
	総合日本語学習 会話Ⅰ (中級)		1			
	総合日本語学習 会話Ⅰ (中上級)		1			
	総合日本語学習 会話Ⅰ (上級)		1			
	総合日本語学習 会話Ⅱ (初級)		1			
	総合日本語学習 会話Ⅱ (初中級)		1			
	総合日本語学習 会話Ⅱ (中級)		1			
	総合日本語学習 会話Ⅱ (中上級)		1			
7	総合日本語学習 文法Ⅲ (初級)		1			
	総合日本語学習 読解Ⅲ (初級)		1			
	総合日本語学習 文字・語彙Ⅲ (初級)		1			
	総合日本語学習 聴解Ⅲ (初級)		1			
	総合日本語学習 作文Ⅲ (初級)		1			
	総合日本語学習 会話Ⅲ (初級)		1			
	漢字Ⅰ (初級)		1			
	漢字Ⅱ (初級)		1			
	基礎科目	2	文字・語彙Ⅰ (初中級)		1	修了要件 基礎科目・内容区分2から応用科目・内容区分2にわたって各1科目以上履修し、6単位以上修得。初中級以上。
文字・語彙Ⅰ (中級)				1		
文字・語彙Ⅰ (中上級)				1		
文字・語彙Ⅰ (上級)				1		
文字・語彙Ⅱ (初中級)				1		
文字・語彙Ⅱ (中級)				1		
文字・語彙Ⅱ (中上級)			1			
文字・語彙Ⅱ (上級)			1			
3		文法Ⅰ (初中級)		1		
		文法Ⅰ (中級)		1		
		文法Ⅰ (中上級)		1		
		文法Ⅰ (上級)		1		
		文法Ⅱ (初中級)		1		
		文法Ⅱ (中級)		1		
文法Ⅱ (中上級)			1			
文法Ⅱ (上級)		1				
1	読解Ⅰ (初中級)		1			
	読解Ⅰ (中級)		1			
	読解Ⅰ (中上級)		1			
	読解Ⅰ (上級)		1			
	読解Ⅱ (初中級)		1			
	読解Ⅱ (中級)		1			
読解Ⅱ (中上級)		1				
読解Ⅱ (上級)		1				
2	聴解Ⅰ (初中級)		1			
	聴解Ⅰ (中級)		1			
	聴解Ⅰ (中上級)		1			
	聴解Ⅰ (上級)		1			
	聴解Ⅱ (初中級)		1			

応用科目		聴解Ⅱ (中級)		1		
		聴解Ⅱ (中上級)		1		
		聴解Ⅱ (上級)		1		
	3		作文Ⅰ (初級)		1	修了要件 応用科目・内容区分3から4 にわたって各1科目以上履 修し、3単位以上修得。
			作文Ⅰ (初中級)		1	
			作文Ⅰ (中級)		1	
			作文Ⅰ (中上級)		1	
			作文Ⅰ (上級)		1	
			作文Ⅱ (初級)		1	
			作文Ⅱ (初中級)		1	
			作文Ⅱ (中級)		1	
			作文Ⅱ (中上級)		1	
			作文Ⅱ (上級)		1	
	4		会話Ⅰ (初級)		1	
			会話Ⅰ (初中級)		1	
			会話Ⅰ (中級)		1	
		会話Ⅰ (中上級)		1		
		会話Ⅰ (上級)		1		
		会話Ⅱ (初級)		1		
		会話Ⅱ (初中級)		1		
		会話Ⅱ (中級)		1		
		会話Ⅱ (中上級)		1		
		会話Ⅱ (上級)		1		
日本文化科目	1	日本事情Ⅰ (初級)		1	修了要件 日本文化科目・内容区分1 から1科目、内容区分2から 4科目以上履修し、5単位以	
		日本事情Ⅰ (初中級)		1		
		日本事情Ⅰ (中級)		1		
		日本事情Ⅰ (中上級)		1		
		日本事情Ⅰ (上級)		1		
	2	日本語コミュニケーションⅠ		1		
		日本語コミュニケーションⅡ		1		
		日本の伝統文化Ⅰ		1		
		日本の伝統文化Ⅱ		1		
		異文化コミュニケーションⅠ		1		

備考2 2年目の授業科目等については、別に定める。

別表第9（学則第71条）

（1）入学検定料

全学部	30,000円
-----	---------

（2）入学金

全学部	200,000円
-----	----------

（3）授業料、施設設備費、教育研究料

学部	納入金内訳	金額
文学部	授業料	700,000円
	施設設備費	140,000円
	教育研究料	140,000円
食物栄養科学部	授業料	840,000円
	施設設備費	170,000円
	教育研究料	150,000円
国際経営学部	授業料	700,000円
	施設設備費	140,000円
	教育研究料	140,000円
看護学部	授業料	960,000円
	施設設備費	300,000円
	教育研究料	140,000円
	実験実習費	80,000円

別表第10（学則第64条）

別科日本語課程

納入金内訳	金額
入学検定料	30,000
入学金	150,000
授業料	500,000

別表第11 (学則第3条)

学部・学科の教育研究上の目的

文学部	国際言語・文化学科	言語、文化、文学、芸術実技・理論に関する「日本語・日本文学コース」、「英語・英米文学コース」、「芸術表現コース」において、十分な専門的知識と技術を備え、総合的な視点から諸問題に対応できる広い視野あるいは国際的な視野をもった人材、教員や図書館司書のような、将来、地域教育・学術文化を担う人材、あるいは将来研究者を目指す人材を養成することを目的とする。
	史学・文化財学科	「世界史コース」、「日本史・アーカイブズコース」、「考古学・文化財科学コース」の3つの分野において、総合的な視点から諸問題に対応できる広い視野をもった人材、教員や学芸員のような教育や地域文化の継承を担う人材、また、将来研究者を目指す人材を育成することを目的とする。あわせて、習得した知識や技術、経験を活かして社会で柔軟に対応できる人材を育成する。
	人間関係学科	福祉、心理学、生涯教育（スポーツ分野）に関する「社会福祉領域」、「心理領域」、「教育・生涯スポーツ領域」において、学際的観点に立ち、これらの諸問題を理論的かつ実践的に解決できる人材、公認心理師・社会福祉士・精神保健福祉士・教員・認定心理士などの資格を取得し、地域社会の活性化あるいは再生を担うことができる人材を養成することを目的とする。
食物栄養科学部	食物栄養学科	食と健康に関する実際に即した専門教育を施し、視野の広い社会観、人間観を涵養することで、食と栄養を通して人びとの健康を守り、病気の予防や回復に貢献する、21世紀の健康的な社会の構築に寄与できる人材を育成することを目的とする。
	発酵食品学科	人間教育を中心とし、人格の陶冶に努め、実際に即した食とバイオサイエンスに関する専門教育を行い、地域社会ならびに国際社会の発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする。
国際経営学部	国際経営学科	グローバル化かつ多様化した現代社会において、特に地域的、経済的、社会文化的にクロッシング・ボーダー化した領域において活躍できる経営能力を身につけた人材を養成する。
看護学部	看護学科	健康と生活に深くかかわる看護専門職として、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性と倫理観、確かな看護の専門的知識・実践力を有し、時代や社会の変化に伴う地域社会の健康課題について、多職種連携のもと自律的に行動できる人材、あわせて、自己研鑽を続け、看護学の発展に寄与できる人材を養成することを目的とする。